

プレスリリース

ガウ・キャピタル、大阪の松下IMPビルをみずほ不動産投資顧問主導のコンソーシアムに売却

2025 年 8 月 12 日、大阪ー大手マルチアセット投資運用会社のガウ・キャピタル・パートナーズは本日、みずほ不動産投資顧問が主導するコンソーシアムとの間で、大阪ビジネスパーク内に所在するグレード A-/B+のオフィスビル「松下 IMP ビル」の売却について合意したことをお知らせいたします。本物件は当初、機関投資家のセパレートアカウントを通じて 2020 年 4 月に当社が取得しました。

松下 IMP ビルは、貸床面積 12,747 坪(約 42,140 平方メートル)の高品質なオフィス物件で、各フロアは貸床面積 400 坪(約 1,322 平方メートル)超の広いフロアプレートを提供しています。大阪市中心部にある 26 ヘクタールの大阪ビジネスパークは、日本を代表する有力企業が多数集積するビジネス地区として知られ、パーク内の戦略的立地に建つ松下 IMP ビルは、地下鉄 4 駅が徒歩圏内にあるなど、非常に高いアクセス性を備えているのが特長です。とりわけ、大阪中心部のオフィスエリアである大阪駅へは直通電車でわずか 7 分、車で 11 分、また、大阪屈指の商業エリアである心斎橋へは電車で 10 分という利便性を誇ります。

今回の売却は、近年の大阪市場で最大級となるオフィス取引です。ガウ・キャピタルは 2020 年以降、本物件の価値向上を目的としたさまざまなアセットマネジメント施策を講じてきました。2022 年 9 月に完了した改修工事では、1 階と 3 階のオフィスロビー、店舗が立ち並ぶアトリウム、エレベーターホール、人目につかないアルコーブスペースなどがアップグレードされています。特に、中央アトリウムに座席スペースを新設したことが店舗の集客アップにつながりました。こうした松下 IMP ビルのブランド再構築の取り組みは、魅力と建物性能が向上したことで市場から高い評価を受けました。

ガウ・キャピタルは、オフィス、商業施設、ホテル、住宅、データセンター、物流施設など、あらゆる不動産セクターにおいて豊富な取引実績を有します。2022 年には、日本初となる J-REIT の非公開化を実施し、2025 年初頭にはペイシャンスキャピタルグループとともに東急銀座プラザを取得しました。ガウ・キャピタルは現在、日本約 6,550 億円(47 億米ドル)の資産を運用しています。

以上

ガウ・キャピタル・パートナーズについて

ガウ・キャピタル・パートナーズは、アジアを拠点に、世界の不動産、グロースエクイティ、プライベートクレジット、インフラ市場に注力するマルチアセット型投資運用会社です。

2005年の設立以来、アジア太平洋地域を対象とした7つの合同運用ファンドを調達したほか、米国でバリューアッド型／オポチュニスティック型ファンド、アジア全域を対象とするホスピタリティーファンド、



欧州を対象とするホスピタリティーファンド、グロース・エクイティ・ファンド、およびクレジットファンドを組成してきました。また、世界各地でクレジット戦略や個別口座による直接投資も運用しています。ガウ・キャピタルは、パフォーマンスの低い資産を再生し、創造的な資金調達手法を通じて価値を高め、資本配分に関する高い専門性を活用することで、継続的に高い収益を生み出してきました。

2005 年から 2025 年第 1 四半期までのエクイティ調達額は 242 億米ドル、同期時点の運用資産総額は 354 億米ドルにのびります。

メディアの問い合わせ先:

Gaw Capital Partners

Camille Lam

Tel: +852 2583 7717/+852 9876 9286

Email: camillelam@gawcapital.com

www.gawcapital.com